

# 東日本大震災支援・防災

報道関係各位

2013年9月11日

## 民間災害支援団体「CIVIC FORCE」 一刻も早く一人でも多く救うため 医療搬送ヘリで転院搬送

### 正式運航開始に先立ち緊急特別出動

国内の大規模災害時に迅速で効果的な支援を行う民間団体「公益社団法人 Civic Force(シビック・フォース)(本部: 東京都千代田区、代表理事: 大西 健丞)」は、本日、「特定非営利活動法人オールラウンドヘリコプター(ARH)(宮城県気仙沼、代表理事: 高橋雅之)」と協力し、ヘリコプターで患者の転院搬送を実施します。

これは、2012年夏から開始したCivic Force 中長期復興支援「命をつなぐ翼プロジェクト ～ヘリを活用した緊急医療搬送支援」の一環として実施するもので、同プロジェクトでは、都市部の高度医療機関へのアクセスが悪く、東日本大震災後、さらに医療過疎が進む宮城県気仙沼市を中心とした三陸沿岸及びその近隣地域において、現行の医療搬送手段を補完する形で医療用多目的ヘリコプターを運航する準備を進めてきました。現在、今秋に予定している正式運航開始に向けて、各種関係機関との協議を進めていますが、今回の出動は、岩手県の大船渡病院救命救急センターからの出動要請を受け、正式運航開始前の緊急特別対応として、患者の転院搬送を実施します。搬送にあたっては、ARHの操縦士及び救急救命士が出動します。日程は以下のとおり。

- 日時:9月11日(水)
- 要請内容:藤沢市民病院(神奈川県)から大船渡病院への転院搬送。
- 同乗者:医師1名、看護師1名、ARH救急救命士1名、ARH操縦士
- 運航スケジュール:9:30ヘリで気仙沼を出発
  - 民間救急車で藤沢市民病院から東京ヘリポートへ移動した患者を搬送
  - 大船渡病院併設ヘリポートへ

なお、今秋の正式運航開始にあたっては、宮城県気仙沼で運航開始式典及び記者会見を予定しており、日程が決まり次第、お知らせします。全国でも珍しい民間による医療ヘリ事業の挑戦について、ぜひ取材いただきたく、よろしくお願いいたします。

**◆これまでの経緯**

【2013 年】

- 3 月: 気仙沼市副市をはじめ医療機関などとの勉強会を実施(随時開催)
- 4 月: ヘリコプター駐機場周辺の 3 自治会及び 3 仮設住宅への事業説明会を開催  
ヘリコプターの展示飛行と意見交換会を開催
- 6 月: 気仙沼市・ARH・Civic Force と三者でヘリコプターの利活用に関する協定締結
- 6 月: 国土交通省「広域的地域間共助推進事業」に選定
- 9 月: 南三陸町・ARH・Civic Force と三者でヘリコプターの利活用に関する協定締結

**公益社団法人 Civic Force**

国内の大規模災害において、企業や行政、NGO との連携を活かして、かつてないスピードで質の高い支援を提供します。東日本大震災では、平時からの準備により、大震災発生翌日からヘリで被災地に入り、大規模な支援物資の調達・配送やお風呂の設営事業、離島への大型カーフェリーの就航のほか、NGO と連携して多岐にわたる事業を展開。2012 年夏からは「中長期復興支援事業」(<http://www.civic-force.org/emergency/higashinohon/choki/>)を実施中。これらの活動に対し、2013 年 8 月末現在、個人・法人から約 18 億円のご寄付をいただいています。

**特定非営利活動法人オーラウンドヘリコプター(ARH)**

日本では特別な移動手段としてのイメージが強いヘリコプターを、社会のさまざまな場面で有効活用することで、より良い社会づくりに貢献することを目的として 2012 年に設立。現在、都市部の高度医療機関へのアクセスが悪く、東日本大震災後、さらに医療過疎が進む宮城県気仙沼市を中心とした三陸沿岸およびその近隣地域において、現行の医療搬送手段を補完する形での医療用多目的ヘリコプターの運航を行うための準備を進めています。

**◆報道関係者からの問い合わせ先:**

公益社団法人 Civic Force 担当:新海 080-1981-9233